

## 宮城県美術館での仙台市博物館所蔵名品展の開催について（案）

- 1 **名称**：第40回全国都市緑化仙台フェア開催記念  
特別展「伊達政宗と杜の都・仙台 ―仙台市博物館の名品―」（仮称）
  - 2 **趣旨**： 仙台藩初代藩主・伊達政宗は、慶長6年（1601）から仙台城と城下の建設に本格的に着手した。現在の仙台市街は明治時代以降、旧城下の町割りを基礎として発展してきた歴史があり、市街地や近郊の緑豊かな景観から、「杜の都」の通称で知られている。その景観は、仙台城の御裏林であった青葉山や、城下に形成された武家の屋敷林、周辺の村落や山林の植生など、江戸時代以来育まれてきた緑地を主として構成されていた。  
第40回全国都市緑化仙台フェアを記念して開催するこの展覧会では、仙台市博物館が所蔵する名品から、仙台・宮城の発展の基礎を築いた伊達政宗と仙台の歴史について展覧する。あわせて、江戸時代の絵図などに描かれた「杜の都」のルーツとなる景観についても紹介する。
  - 3 **主催**：宮城県美術館、仙台市博物館
  - 4 **会期**：令和5年（2023）4月26日（水）～6月18日（日） 開催日数48日間  
※休館日：毎週月曜日（ただし5/1は開館）
  - 5 **会場**：宮城県美術館（本館2階展示室）
  - 6 **観覧料**：一般800円（700円）、学生400円（300円）、小・中・高校生 無料  
※（ ）内は20名以上の団体料金。
  - 7 **展示構成**：1. 伊達政宗と仙台  
2. 描かれた仙台・宮城の風景  
3. 城下町から「杜の都」仙台へ  
4. 「杜の都」の変遷
  - 8 **主な展示資料（別紙リストのとおり）**：  
国宝 支倉常長像、重文 黒漆五枚胴具足 伊達政宗所用、市文 榴ヶ岡花見図屏風 ほか
  - 9 **関連イベント等**：
    - ・講演会「「杜の都」の成り立ち」（仮） 日時未定  
会場：美術館講堂 講師：当館職員
    - ・東北工業大学連携「まちなか博物館講座」 5月27日（土）13:30～15:00  
会場：東北工業大学一番町ロビー2階ホール（対面、オンラインのハイブリッド形式）  
講師：当館職員
- ※このほか、学芸員による講座や体験イベント等を予定